

# はぐはぐ Cafe 通信

子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

カフェ

Vol.22

2024年1月14日発行  
<http://hagu-hagu.com>

発行者/NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ事務局 〒920-0955 石川県金沢市土清水2丁目396番 TEL 070-6559-9557 FAX 076-229-3713

## 「子どもの幸せ」

いつも皆様には、はぐはぐのご支援を賜りましてありがとうございます。皆様からの温かいお声かけやお志にスタッフ一同心より感謝いたしております。

私たちは、この社会でどうか子どもたちが幸せであってほしいと願って、小さな活動をコツコツ続けています。

子どもを持つ親であれば根本的に、だれしも子どもの幸せを願う気持ちがあるのだと思います。しかし親が困窮していたり、不安だったり、疲れて余裕がなくなってしまうと、そんなことすら考えられなくなってしまうことがあります。はぐはぐは、親ごさんがそうならないように寄り添い、懸命に支えようとしています。それは「子どもの幸せ」を願ってのことです。

昨年秋に、はぐはぐの正会員向けの全体研修会を開催いたしました。テーマは「子どもの権利を守るためにできることをみんなで考えませんか」。最初に子どもにかかわる専門職のメンバーにパネラーになっていただき、その後みんなで話し合うミニフォーラムを行いました。その中で「子どもの人権を守るために、しばしば子どもの幸せを奪うこともあるのではないか」という声が出ました。つまり、子どもの安全を確保するために、親と一緒にいたいと願う子どもの気持ちを奪うこともあり、そのことを考えると子どもの権利を守れそうで守れない複雑な心境にある、という意見でした。

私たちが出会ってきた子どもたちの中には、親から怒鳴られたり叩かれたり、困窮状態にあつたりしても、どんな親で

あつても大好きでいつも一緒にいたいと願う子は少なくありませんでした。親の気持ちを汲んで我慢したり、褒めて欲しくていたずらに良い子になったり、逆に嘘をついたり切なくなる場面も多々目にしてきました。

子どものためには、現在のこの環境(親と一緒に暮らすこと)が本当に良いのか、支援者は悩みます。状況によっては親と離れて暮らさなければなりません。その判断をする児童相談所の苦悩を傍らでみていて、対応の難しさを感じています。私たちが関わっている児童養護施設で安心して穏やかに暮らしている、保護された子どもたちの姿からも、実は正解を知ることができない難しい問いです。

それでも、子どもたちのことを尊重し、声を聴く耳をもった大人に出会えたとき、彼らに希望が生まれるのではないかと考えます。親でなくても、彼らが安心して自分の意思を伝えられて、相談できる-- そんな大人がこの社会に沢山いることが重要だと、参加者一同が認識して研修会を閉じました。

「あなたは大切な存在」「そのままのあなたでいいよ」と言葉かけができる大人でありたいと、はぐはぐは思っています。周りの大人が温かく見守り励ますことで、子どもたちは自分自身の力でより良い選択をし、どんな環境にあつても人生を切り開いていってくれると信じたいと思います。

この半年間もスタッフやボランティアの皆さんとともにささやかな支援に取り組んで参りましたので、ここにご報告をさせていただきます。



## 拠点型子ども宅食モデル事業 主催: 金沢市 企画運営: 社会福祉協議会

令和4年度夏より、金沢市が主催し、社会福祉協議会が企画運営する「拠点型子ども宅食モデル事業」が始まりました。これは、金沢の特徴である地域コミュニティ力を活かし、市内を概ね8ブロックに分け、それぞれに拠点を開設し、社会福祉団体と連携し地域から子どもの生活を支援する取り組みです。食料提供を通して、支援が届きにくい家庭に必要な支援につなげる仕組みの構築を目指しており、はぐはぐもスタッフとして協力しています。対象は児童扶養手当を受給している世帯で、拠点に食料を取りにきてもらう際にスタッフから声かけをし、地域での見守り体制や必要な支援に繋がっています。特に厳しい状況にある困窮家



庭は、はぐはぐの「訪問型見守り支援」にも繋がっていきます。

昨年の秋から、はぐはぐは、民生委員、主任児童委員さんとペアを組んで来て下さったお母さんと一緒に食料を選びながら、お困り事をお聞きしています。地域に根ざして活動されている皆さんは、地元の情報も良くご存じて頼もしい存在です。お世話をされている市や社協の職員さんはかなりの手間や労力をかけていらっしゃると思います。現在2ブロックで開催しているこの取り組みがさらに広がり、金沢市はもとより困窮するすべての子どもたちに食料が届き、地域住民によって子どもの見守りができるように、はぐはぐも微力ながらお手伝いをしていきたいと思っています。



## そのまま子ども食堂／はぐはぐ学習支援

困難な状況のご家庭を対象にしている「そのまま子ども食堂」では、「子どもをありのまま受けとめてあげよう」を合い言葉に、スタッフみんなで、来て下さる親子が安心して過ごせるよう心がけています。

最近の子ども食堂のメニューは、子どもたちも調理に参加できるものが多くなってきました。ハンバーグは好きなソースをかけて和風にしたり洋風にしたり、自分でパンに挟んでオリジナルハンバーガーにする子もいます。クレープパーティの時は、ホットプレートで焼いたクレープに具材を入れて巻いて食べましたが、



欲張っていっぱい具を入れて上手く巻けないと怒ったり泣いたり笑ったりと、とても賑やかでした。タコパー(たこ焼きパーティー)では、関西出身のスタッフからの熱い助言をいただきながら、子どもたちとワイワイと楽しみました。

食事の後は、鬼ごっこやかくれんぼでこれまた大騒

ぎ!学ボラさんが汗だくで一緒に遊んでくれます。もちろん勉強をする子は静かなお部屋でじっくり教えてもらいます。

一方お母さんたちは、スタッフに悩みを聞いてもらったり、お母さんどうして情報交換しながらのんびり過ごしています。

7月末には夏祭りを開きました。日頃お世話になっている近所の方にも声をおかけし、子どもたちと交流をしていただきました。また、浴衣をボランティアさんに着せてもらって花火をしたり、かき氷を食べてゲームをしたりと、子どもたちはとても楽しそうでした。

親子が安心してこの食堂で過ごせるように、沢山のボランティアスタッフが力を貸して下さっています。

料理、学習支援、食堂担当、子どもの見守り、食材確保、前日の準備、そしてお米や食材を提供して下さる有志の方々。その他にも本当に多くの方々に支えられています。子どもたちに温かい気持ちを持てる大人がこんなに大勢いる社会は、まだまだ捨てたものではないと感じています。



### そのまま子ども食堂

日時:第2、第4金曜日(支援家庭優先) 17時~20時30分

料金:大人300円、子ども無料 \*支援家庭は大人も無料

場所:ランプアコティ

そのまま  
子ども食堂

### はぐはぐ学習支援

日時:第2、第4金曜日(支援家庭優先) 17時~20時30分

対象:小学生、中学生

料金:無料 場所:ランプアコティ



## 困窮する子育て家庭への食料支援 ~親子に寄り添う訪問型支援~ 《金沢市助成事業》

月1~2回程度、困窮家庭へ食料を携えて訪問する見守り支援をしています。食料の提供を通して親子に寄り添い、社会からの孤立を防ぐことを目的としています。スタッフが定期的に食料を届けることで、丁寧に時間をかけながら親ごさんとの信頼関係を築くことができ、困り事などの相談をしてくれるようになります。依頼のあった機関にはスタッフから定期的に現状を報告し、何かの事案がある際は速やかに連絡しています。現在、金沢市児童家庭相談室や児童相談所、社会福祉協議会、またその他関係機関からも紹介や依頼を受けて訪問支援をしています。

今年に入り物価が上昇続けています。スーパーで買い物をして、今までより多くお金を払っているという実感があると皆さん口を揃えて話します。物価高は賃金や手当が上がっていない困窮家庭の家計をもろに圧迫し、生活保護の申請や借金の返済ができなくなって自己破産をする家庭も増えてきたようです。私たちが支援している親ごさんも仕事を掛け持ちする方が増えてきました。子どもの教育費などに充てたいと言います。しかし身体を酷使して体調を崩したり、長時間留守番をする子どもは寂しさを

抱えながらもそれを親に伝えず、じっと我慢をしていることもあります。私たちはなすすべもありませんが、親子に寄り添って行政と連携しながら支えていきたいと思えます。

この事業は、皆様から贈られるお米などの食料品、日用品、またご寄付などが大きな支えになっております。今後もしさらなるご協力をいただきますと大変助かります。どうぞ宜しくお願いいたします。



## 少年院でのセミナー

半年に1回、少年院(湖南学院様)で院生の皆さんに、「将来パパになったときに知ってほしい7つのルール」と題した「親教育」のセミナーをさせていただいております。今回は11/8(水)に実施しました。

毎回、前半は助産師さんが講師を担当し、女性の妊娠から出産、そして出産後の女性の身体の変化などの話の後、実際に院生の皆さんにも妊婦ジャケットを着てもらい、妊娠中の女性の体験をしていただきます。妊娠後期の重さなので、装着して仰向けに寝転んでもらうと、思わず「重~い」と声が出ます。この体験を通して妊婦さんの大変さを理解してもらえる

ようです。また赤ちゃん人形を抱っこしてもらおうと、照れながら兄弟の子や親戚の子を抱っこしたり、世話をしていたことを話す子もいます。後半は、育児やパートナーとのコミュニケーションについて学んでいただきます。親だけで子育てするのはなく、周りに助けてもらえば良いという話もお伝えしています。セミナー後の感想文で「子どもができたならパートナーにもぜひ教えてあげたい」と書いている院生もいました。毎回少年たちはとても熱心に私たちの話に耳を傾けてくれます。きっと素敵なパパになってくれることでしょう。



## 【第62回】はぐはぐ子育て塾《金沢市委託事業》 令和5年9月6日(水) 10:30～12:00

テーマ「子育て中の親が是非知っておきたい防災の話」

講師 福谷 正信さん (NPO法人 石川県防災士会 理事長)

参加人数 親子4組 見学者4名 12名

奥能登地震が起き、改めて防災の大切さを皆さんにも知ってほしいと考え、企画しました。石川県防災活動アドバイザーでもある福谷さんから、地震への備え・非常持ち出し袋の準備等すぐに出来る身近なところからのお話をいただきました。特に関心が高かったのは、非常持ち出し品には何を何日分準備したら良いのか、ということでした。日頃から準備しておいて、賞味期限前に消費して入れ替える「ローリングストック」についても学びました。当日、防災士会から4名の見学があり、「高齢者の避難は考えていたが乳幼児連れの避難誘導には考えが及んでいなかった。今日参加できてよかった」という意見もいただき、互いに気づきのある時間となりました。



## はぐCafeレポート

(金沢市委託事業)



ママたちはどうしているのかしらとスタッフはいつも心を寄せています。

2023年4月から、毎月第一水曜日の10時30分～ランプアコティにて開催しているはぐカフェ。毎回、5～8組の親子が参加しています。絵本の読みきかせ・手遊び・パネルシアターをお子さんと楽しんで後に簡単な自己紹介をしてから、お茶&お喋りタイムが始まります。読み聞かせが始まると、じーっと絵本を食い入るようにみつめる0歳児の赤ちゃんの目がとてもキラキラしていることに、毎回驚かされます!



スタッフ手作りの梅シロップの炭酸割り、お湯割りは大好評でした!

毎回、あっという間に時間が経ち、皆さん、笑顔で帰って行かれます。参加者のお母さんのお一人が「予想以上に落ち着いたし、癒やされました」と話されていたのが印象的です。

普段、一人で育児・家事にと奮闘しているママさんの止まり木になれたらいいな、と思いながら、毎回はぐカフェをオープンしています♪

## 働くママの支援事業 育休からの職場復帰支援セミナー 《石川県委託事業》



このセミナーは、仕事と育児の両立のコツと家庭や職場でのコミュニケーションの取り方を学び不安を解消し、スムーズな職場復帰・再就職につなげることを目的として開催しています。

育休セミナーはおかげさまで10年目を迎えました。コロナ禍ではZoomでセミナーを継続してきましたが、今年度はようやく広い会場で開催できました。託児もあるので申し込み希望者も多く、お断りしなくてはならない状況で関心の高さが窺えました。

今年度は、「いしかわクルーズターミナル」の研修室を会場に、11/26(日)、12/10(日)の2回にわたって開催しました。初めての会場でしたが、金沢港をパノラマで見渡せ、遠くに立山連峰、白山も眺めることができ、本当に素晴らしい環境で、また久しぶりにお茶やお菓子を提供することができ、参加者同士でお茶を飲みながらリラックスして受講されていました。2回目で行なった

パネルディスカッションも好評で、パネリストの皆さん

の肩肘はらないお話が参加者の皆さんの共感を呼び、熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。ご夫婦での参加も多く、パパさん側の視点での感想や気づきを共有していただけたのも良かったです。

久しぶりに直接顔をみてお話できるのはとても嬉しく、さらに今年度からパートナーであるパパと一緒に参加できるようになったので、さらに充実したセミナーになりました。



## パパちからアップセミナー「これからパパになる、パパをたのしむために」 《石川県委託事業》

プレパパやパパたちに父親の心構えや育休制度、また産前産後の女性の心や身体の変化、新生児の育児、ママとのコミュニケーションなどを学んでもらい、夫婦で共に子育てを楽しんでいただくための「パパちからアップセミナー」を令和4年度から開催しています。はぐはぐスタッフの助産師、社会福祉労務士、子育て支援の3名の専門家がプレパパ、パパを対象にお話しています。

今年度第1回目(8/5実施)は、オンラインでのセミナーでした。自宅から気軽に参加できるため予想以上に多くの参加がありました。第2回目は昨年と同じく石川県立図書館の研修室で開催し、多くのプレパパ、パパが参加して下さいました。講師陣からのレクチャー終了後、グループに分かれての質疑応答では、どのグループからも大変活発に質問が出ました。レクチャーの内容の詳細など、より具体的な質問が多かったようです。これから子育てにかかわるパパの真剣な表情での質問に、講師たちも

真剣に回答をしていました。

アンケートの結果も非常に好評で、感想からも満足していただいていた様子が窺えます。「育休取得申請直前だったので、内容をよく理解できて良かった。」「細かい部分までわかりやすく噛み砕いた内容だった。」「子育てにおける心構えについて、十分アドバイスをいただけた」などありました。第3回はまたオンラインで令和6年2月に開催予定です。





# 児童養護施設の子どもたちへの学習ボランティア



毎週火曜日、聖霊愛児園で、小学2年生3名と1年生4名の学習ボランティアをしています。個性豊かな子どもたちと一緒に勉強したり、遊んだりしながら1時間を過ごします。また中学3年生は継続的に、また高校生2人は定期試験前に指導しています。

こちらの施設で学習ボランティアを2名で始めて10年程経ちますが、昨夏からついに専任スタッフが増えました。おかげさまで子どもたちとゆっくり向き合える時間ができ、とても嬉しく思っています。

子どもたちは、この場所でそれぞれがゆったり伸び

伸びと過ごし、時間がきたら「またね～」と帰っていきます。施設のお姉さんやお兄さんたちは、一日の長い時間を子どもたちと向き合っておられ、そのご苦労は計り知れません。はぐはぐのおばちゃんたちは、ほんの一時のお付き合ひ、そして少しのサポートしかできませんが、これからも可愛い子どもたちと笑ったり怒ったりしながら過ごしたいと思っています。

来年度からようやく「こどもの夢応援事業」も再開する予定です。子どもたちの輝く笑顔を見られるのが今から楽しみです。



## 金沢ペアレンティング研究会

<http://kanapareken.wp.xdomain.jp/>



今年度の支援者養成は、9月にMOP(オーダーマイドペアレンティング)初級トレーナー養成研修、10月にスキルアップ研修、11月にMOP中級トレーナー養成研修を開催し、延べ24人の方が受講されました。また並行して第2回MOP継続研修会が実施されています。令和6年1月からは第3回MOP継続研修会が開催される予定であり、すでに参加申し込みが始まっています。

また今年度もトレーナー資格を有する会員を自治体に派遣し、子育て中の親御さんにMOPプログラムを実施しています。さらに、いくつかの自治体から来年度の実施の依頼およびその検討のための見学が行われています。今後、自治体からのトレーナー派遣の依頼が増加しMOPが県内に広がっていくものと思われます。

## はぐはぐ活動日誌

Vol.22  
R5.7月~12月

- ・ Vol.21会報発行 (7月)
- ・ はぐはぐ定例会 (7/7, 9/22, 10/29)
- ・ はぐはぐ理事会 (8/23, 10/23)
- ・ はぐはぐ全体研修会 (10/29)
- ・ 金沢市拠点型子ども宅食モデル事業への参加 (6/25, 8/19, 11/12, 12/2)
- ・ 金沢市拠点型子ども宅食モデル事業振り返り (6/29, 8/28, 11/15, 12/6)
- ・ 子どもと家庭包括支援勉強会 主催「子育て支援研修会」にて 活動実践発表 (7/13)
- ・ 金沢市子ども政策審議会 出席 (8/9)

- ・ 金沢市夢プランワーキング 出席 (9/25, 11/29)
- ・ 石川県生協連連合会主催 研修会にて講演 (9/26)
- ・ 金沢市立泉中学校 いずみ学級にて講演 (10/19)
- ・ 金沢市子どもを育む行動推進委員会 (11/15)
- ・ 金沢子ども応援ネットワーク会議にて活動実践発表 (11/13)
- ・ 金沢市民生委員児童委員協議会 研修会にて講演 (11/25)
- ・ いしかわ結婚・子育て支援財団主催「親子交流事業」二水高校、錦丘高校、伏見高校 見守り参画
- ・ フードバンク、食品調達、野菜の買い付け等 (通年)
- ・ 聖霊病院 評議委員会 出席



## はぐはぐ活動スケジュール (令和6年1月~令和6年3月まで)

- はぐはぐ子育てサロン(はぐカフェ・子育て塾) 毎月第1水曜日
- 愛児園学習ボランティア(毎週火曜日)



日程	活動内容	場所
12/8, 1/10, 3/6	ママの居場所 はぐカフェ ◇参加費200円(お菓子飲物付) *金沢市委託事業	ランプアコティ (はぐはぐの家)
2月24日(土) 10:30~12:00	第63回子育て塾「子育て中の親御さんに伝えたい事」 講師:原田克巳氏 金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 ◇参加無料 *金沢市委託事業	いしかわ子ども交流センター
毎月【第2,第4】木曜日	子育て相談 ▶要予約 070-6559-9557	ランプアコティ (はぐはぐの家)
毎月【第2,第4】金曜日	困窮家庭(子育て世帯)への宅食支援(訪問、フードドライブ) そのままこども食堂・学習支援 ▶要予約 (はぐはぐ支援家庭優先) *金沢市子ども見守り支援助成事業	ランプアコティ (はぐはぐの家)
2月17日(土) 9:30~11:30	「パパちからアップセミナー」 講師:塚脇京子(助産師) 服部英明(社労士) 水島栄美子(コーディネータ) *石川県委託事業	オンライン

## 令和6年(2024年)度 寄付及びサポーター会員募集のお知らせ

はぐはぐは、ボランティアで成り立っている団体です。主な活動は皆様の寄付及び会費でまかなっております。

はぐはぐの家(ランプアコティ)の運営や困窮家庭への食料支援などもありますので、皆様のご支援がありますと本当に助かります。

はぐはぐの活動の趣旨にご賛同いただけるサポーター会員を募集しています。また随時ご寄付やお米、お菓子など食料の支援も受け承っております。温かいご支援を何卒よろしく願っています。

- [会員の特典] ●会報の発行 ●はぐはぐ各種事業の参画  
[年会費] ●サポーター会員(個人).....1口 3,000円  
●サポーター会員(法人、団体)・・1口10,000円

### 【サポーター会員会費・寄付振込先】

郵便局 口座番号 00790-9-76858

NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

\*恐れ入りますが、お手数料は本人のご負担でお願い致します。支援金は、親支援・子どもたちへの直接的な支援費用や会の運営費用等に充当させていただきます。

■お問合わせ TEL 070-6559-9557 (はぐはぐ事務局)

Email: info@hagu-hagu.com

\*いずれも詳しくは事務局 (070-6559-9557) までお問い合わせください。

